



満天星



いっしょに



伊那弥生ヶ丘高校図書委員会 / 年 A 組

ソードアート・オンライン 著者・川原 礫

「これは、ゲームであっても遊びではない」クリアするまで脱出不可能、ゲームオーバーは現実の死を意味する——。真実を知らずにログインした一万人のユーザー、その内の一人であり、他人とパーティーを組まないキリトは、女流剣士アスナに強引にコンビを組まされ、デスゲームクリアを目指して熾烈な冒険を繰り広げる。

生きる ぼくら 著者・原田 マハ

いじめから、ひきこもりとなった二十四歳の麻生人生。頼りだった母がある日突然いなくなり、年賀状の束だけが残されていた。その中に一枚だけ見覚えのある名前があり、人生は四年ぶりに外へ出て、その人の元へ向かうとそこには——。人の温もりにふれ、米づくりから、大きく人生が変わっていく。



この冬、いなくなる君へ 著者・いぬじゅん

大具会社で働く菜摘は仕事もプライベートも充実せず、無気力になっていた。ある夜、ひとり会社で残業をしていると火事に巻き込まれ、意識を失ってしまう。はっと気づくと篤生と名乗る謎の男が立ち、「この冬、君は死ぬ」と告げられて——。ラストのどんでん返しに、切ない涙が温かい涙に変わる、衝撃と驚愕が待ち受ける！

また、同じ夢を見ていた 著者 住野 よる

「人生とは和風の朝ごはんみたいなものだよ」小柳奈ノ花は「人生とは〜」が口癖のちょっとおませな女の子。ある日、彼女は草むらで一匹の猫に出会う。そしてその出会いは、とても格好いい「アバズしさん」、手首に傷がある「南さん」といった、様々な過去を持つ女性たちとの不思議な出会いに繋がっていく——。大ベストセラー青春小説「君の臓腑を食べたい」の住野よるが贈る、幸せを探す物語。

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 著者 プレイディみかこ

人種も貧富の差もごちゃまぜの元鹿辺中学校に通い始めたぼく。人種差別丸出しの移民の子、アフリカからきたばかりの少女やジェンダーに悩むサッカー小僧……。まるで世界の縮図のようなこの学校では、いろいろあって当たり前、でも、みんなぼくの大切な友だちなんだ——。優等生のぼくとパンクな母ちゃん、ともに考え、ともに悩み、毎日を乗り越えていく。最後はホロリと涙のこぼれる感動のリアルストーリー。

タスキメシ 著者 額賀 澤

陸上の名門高校で長距離選手として将来を期待されていた真家早馬(まいえそうま・高3)は、右膝の骨折という大けがを負いリハビリ中。そんな折、調理実習部の都と出会い料理に没頭する。一学年下で同じ陸上部員の弟春馬、陸上部部長の親友助川、ライバル校の藤宮らは早馬が戻ってくることを切実に待っている。しかし、そんな彼らの気持ちを裏切って心に傷を抱えた早馬は競技からの引退を宣言する。それぞれの熱い思いが交錯する馬伝大会がスタートする。そのゴールの先に待っているものとは……。

